



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月9日

上場会社名 株式会社ダイセキ
 コード番号 9793
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 博之
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 柱 秀貴
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

上場取引所 東・名
 URL <http://www.daiseki.co.jp>
 (TEL) 052 (611) 6322
 配当支払開始予定日 平成25年10月31日

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年3月1日～平成25年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年2月期第2四半期 | 20,314 | 11.5 | 3,644 | 26.2 | 3,717 | 25.3 | 2,100 | 30.6 |
| 25年2月期第2四半期 | 18,217 | △4.9 | 2,885 | △16.7 | 2,965 | △16.3 | 1,608 | △18.1 |

（注）包括利益 26年2月期第2四半期 2,364百万円 (44.3%) 25年2月期第2四半期 1,637百万円 (△19.2%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年2月期第2四半期 | 46.63 | — |
| 25年2月期第2四半期 | 35.70 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 26年2月期第2四半期 | 63,160 | 52,835 | 79.4 |
| 25年2月期 | 59,468 | 50,835 | 81.4 |

（参考）自己資本 26年2月期第2四半期 50,159百万円 25年2月期 48,462百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|----------|--------------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 25年2月期 | 円 銭 — | 円 銭 10.00 | 円 銭 — | 円 銭 11.00 | 円 銭 21.00 |
| 26年2月期 | 円 銭 — | 円 銭 10.00 | 円 銭 — | 円 銭 10.00 | 円 銭 20.00 |
| 26年2月期（予想） | | | — | 10.00 | 20.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年3月1日～平成26年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 通期 | 39,500 | 9.6 | 6,600 | 22.1 | 6,700 | 20.6 | 3,620 | 19.6 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 2 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

| | |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ：有 |
| ④ 修正再表示 | ：無 |

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 2 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年2月期 2 Q | 45,124,954株 | 25年2月期 | 45,124,954株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年2月期 2 Q | 85,378株 | 25年2月期 | 84,602株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年2月期 2 Q | 45,040,021株 | 25年2月期 2 Q | 45,041,220株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 繼続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年12月の政権交代後に新政権が打ち出した、いわゆる「アベノミクス」と呼ばれる金融緩和や各種経済政策による円高の修正が進み、輸出企業を中心に企業業績は回復基調に転じ、株価上昇ならびに高額品を中心とした個人消費の回復が見られるなど、景気全般に明るい兆しが見えてまいりました。ただ、いまだ不安定な状態が続く欧州経済や減速感の見られる新興諸国の経済、また我が国に目を転じれば領土問題や歴史問題に起因した近隣諸国との関係悪化や電力料金の値上げなどの不安要素も残り、完全な景気回復とまでは言えない状況であり、今後の国内景気に対して慎重な見方も続いております。

こうした背景を受け、当社の主力事業である工場廃液の中間処理・リサイクル業においても、国内における工業生産の回復を受け、受注数量は昨年度後半の急速な落ち込みから徐々に回復傾向を示してまいりました。さらには、廃油の回収ルートを製造業以外にも拡大し、リサイクル燃料の増産にも努めており、順調に販売数量を伸ばしております。また円高の修正により国内燃料価格は上昇局面を迎え、当社が製造するリサイクル燃料においても、需要は高まり価格も上昇しつつあり、当社における業績寄与も高まってまいりました。

一方、連結子会社の株式会社ダイセキ環境ソリューションが手掛ける土壤汚染の調査・分析・処理事業も、堅調な国内の不動産取引や建設需要を背景とし、加えて一部東北地方の復興案件も含め、順調に受注件数を伸ばしてまいりました。さらには建物等の解体現場から発生する廃石膏ボードのリサイクル事業に関してもほぼ100%稼働が継続してまいりました。

また、円高の修正により、当社グループにおいて手掛けるリサイクル製品である再生鉛の国内相場も好転し、採算が改善してまいりました。さらには、昨年度受注が遅れていたタンク洗浄事業におきましても順調に受注が進み、現状ほぼ100%の稼働状況が続いております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高20,314百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益3,644百万円（同26.2%増）、経常利益3,717百万円（同25.3%増）、四半期純利益2,100百万円（同30.6%増）と増収増益を確保いたしました。

当社グループは、環境関連事業から構成される単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は63,160百万円と前連結会計年度末に比べ3,691百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1,308百万円、受取手形及び売掛金が1,158百万円それぞれ増加したことによります。負債は10,324百万円と前連結会計年度末に比べ1,691百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が572百万円、未払法人税等が431百万円それぞれ増加したことによります。純資産は52,835百万円と前連結会計年度末に比べ1,999百万円増加いたしました。これは主に利益獲得により利益剰余金が1,637百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年4月10日に公表しました連結業績予想から修正はおこなっておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、重要性が増したことにより、株式会社グリーンアローズ中部を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 19,874 | 21,183 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,616 | 7,774 |
| 有価証券 | 300 | 300 |
| たな卸資産 | 1,186 | 2,142 |
| 繰延税金資産 | 265 | 311 |
| その他 | 248 | 414 |
| 貸倒引当金 | △13 | △27 |
| 流動資産合計 | 28,477 | 32,097 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 3,976 | 4,018 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,567 | 1,739 |
| 土地 | 11,704 | 11,704 |
| 建設仮勘定 | 1,989 | 1,811 |
| その他（純額） | 190 | 201 |
| 有形固定資産合計 | 19,427 | 19,476 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,699 | 1,563 |
| その他 | 268 | 265 |
| 無形固定資産合計 | 1,967 | 1,829 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,439 | 6,602 |
| 繰延税金資産 | 615 | 592 |
| その他 | 2,555 | 2,603 |
| 貸倒引当金 | △13 | △42 |
| 投資その他の資産合計 | 9,595 | 9,756 |
| 固定資産合計 | 30,991 | 31,062 |
| 資産合計 | 59,468 | 63,160 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成25年2月28日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日) |
|----------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,651 | 3,224 |
| 短期借入金 | 1,372 | 1,655 |
| 未払法人税等 | 1,183 | 1,614 |
| 賞与引当金 | 261 | 298 |
| その他 | 1,960 | 2,310 |
| 流動負債合計 | 7,429 | 9,103 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10 | — |
| 退職給付引当金 | 827 | 858 |
| 役員退職慰労引当金 | 277 | 283 |
| その他 | 88 | 80 |
| 固定負債合計 | 1,203 | 1,221 |
| 負債合計 | 8,632 | 10,324 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,382 | 6,382 |
| 資本剰余金 | 7,051 | 7,051 |
| 利益剰余金 | 34,926 | 36,564 |
| 自己株式 | △128 | △130 |
| 株主資本合計 | 48,231 | 49,867 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 231 | 291 |
| その他の包括利益累計額合計 | 231 | 291 |
| 少數株主持分 | 2,373 | 2,675 |
| 純資産合計 | 50,835 | 52,835 |
| 負債純資産合計 | 59,468 | 63,160 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 18,217 | 20,314 |
| 売上原価 | 12,889 | 14,188 |
| 売上総利益 | 5,328 | 6,126 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,442 | 2,481 |
| 営業利益 | 2,885 | 3,644 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 59 | 56 |
| 受取配当金 | 9 | 9 |
| その他 | 20 | 24 |
| 営業外収益合計 | 89 | 89 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 2 |
| 固定資産貸借費用 | 6 | 10 |
| その他 | 0 | 3 |
| 営業外費用合計 | 9 | 17 |
| 経常利益 | 2,965 | 3,717 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 2 | 70 |
| 特別利益合計 | 2 | 70 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | — | 0 |
| 固定資産除却損 | 18 | 18 |
| 投資有価証券評価損 | 2 | — |
| 特別損失合計 | 21 | 18 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,947 | 3,768 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,364 | 1,580 |
| 法人税等調整額 | △88 | △73 |
| 法人税等合計 | 1,276 | 1,506 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,671 | 2,262 |
| 少数株主利益 | 62 | 162 |
| 四半期純利益 | 1,608 | 2,100 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 1,671 | 2,262 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △33 | 101 |
| その他の包括利益合計 | △33 | 101 |
| 四半期包括利益 | 1,637 | 2,364 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,576 | 2,161 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 61 | 203 |

(3) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。